

経営比較分析表（令和4年度決算）

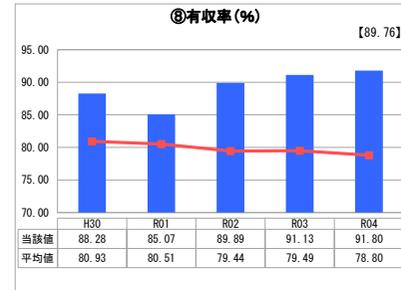
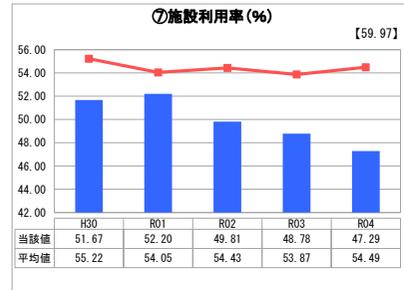
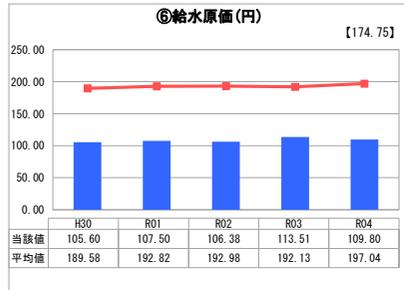
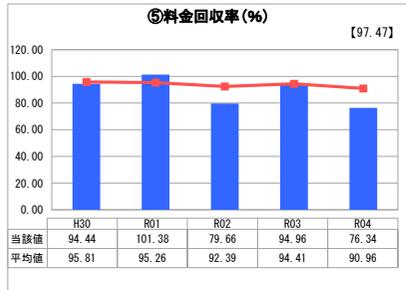
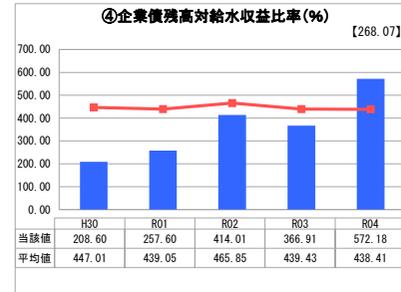
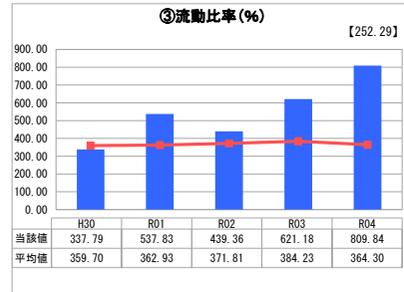
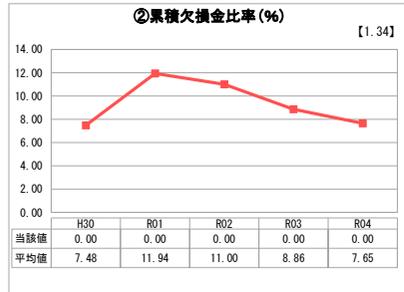
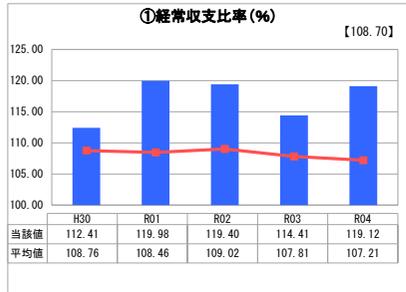
岡山県 早島町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	61.63	100.00	1,980	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
12,648	7.62	1,659.84
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
12,628	7.62	1,657.22

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

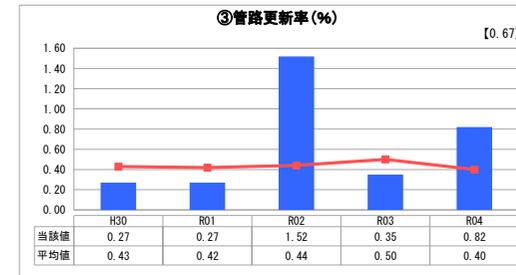
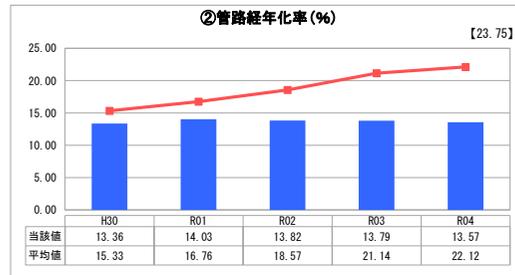
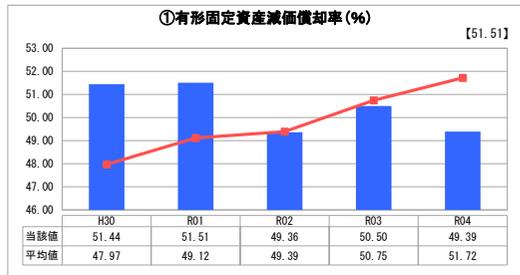
1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は100%を上回っているが、これは一時的な加入負担金・管理負担金の増加によるものであり、適正な料金改正が必要である。
 ②累積欠損比率は発生していない。今後も引き続き適正な徴収を行っていく必要がある。
 ③短期債務に対する支払い能力は確保されているといえるが、管路更新に係る企業債の発行による流動負債の増加が今後見込まれている。
 ④管路更新に係る起債額が昨年度と比較して大きく増加している。健全な経営のためには、企業債の発行の抑制及び適正な料金改正が必要である。
 ⑤新型コロナウイルス等感染症対策事業による他会計補助金の影響が反映されて低値となっているが、そのことを考慮しても100%を下回っており、適正な料金改正が必要である。
 ⑥有収水量1mあたりの給水原価は、コストを意識した事業運営を行っていることで、平均値よりも低く抑えられており、費用効率は良いといえる。
 ⑦施設利用率は、昨年度から減少しているため、ダウンサウジング等による有効的な施設利用の検討が必要である。
 ⑧漏水箇所の修繕や管路更新により更に改善が進んだ。高値を維持するため、漏水箇所の早期発見や計画的な管路更新を引き続き行っていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

①管路更新が進み、昨年度と比べて下落している。引き続き計画的な更新が必要である。
 ②例年程度の数値となっているが、今後は法定耐用年数を迎える施設の増加が見込まれるため、引き続き計画的な更新が必要である。
 ③昨年度と比較して、上昇している。経営状況を見ながら計画的に更新していく必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

更新にかかる費用を確保する必要があるため、本町の水道事業経営は決して良好とはいえず、安定的かつ計画的に水道事業経営を行う上では、他の事業体と比べて大幅に安く設定している水道料金の改正を計画的に行っていく必要がある。